

2020.7.29

組合たより「矢吹町複合施設建設工事監理業務委託」 に関する工事監理業務完了検査の実施状況報告

当組合では、発注者検査員による業務委託完了検査の受検前に組合完了検査を実施しています。本検査は、区組合受託業務に対して組合定款に基づく規約（官公需共同受注規約）及び設計・工事監理業務審査要領に定めた工事監理業務成果品の品質向上に努めるために実施しているもので、担当事務所の社内検査を実施した後、組合管理建築士及び組合が委嘱した審査委員の内部審査（発注者の工事監理業務委託仕様書、組合受託業務適用基準等の合否及び工事の出来形確認等）を行っています。

7/21（火）の10時から矢吹町複合施設工事現場で標記工事監理業務の組合完了検査を行いました。これは組合担当者（鈴木伸幸建築設計事務所&エスデー設計研究所）の業務執行状況を組合検査員が再度検査するもので、発注者に対し受託者である当組合が担当者任せにすることなく一定の品質を保つ成果品となることを確認する行為で、組合受託業務適用基準や工事監理業務チェックリスト等により確認するものです。

本施設は矢吹町が図書館、多目的ホール、生涯学習、子育て支援機能等を有する多機能施設として整備（S・W造、2階建て、床面積約2,900㎡）したものです。

当日は、発注者監督員：星副主査（矢吹町役場）や発注者支援業務を受注している市町村支援機構職員2名、工事受注者の高田・伸和・平成特別共同企業体の監理技術者や現場代理人の立合いの下で関係書類や現場の出来形等を確認しました。





なお、組合検査員は、建築工事：鈴木宏幸氏（(株)杜設計）、電気設備工事：八島一隆氏（(有)八島企画設計）、機械設備工事：國分寛樹氏（(有)イズミ設計事務所）の3氏で、工事監理業務チェックリスト等により専門的見地から審査を行いました。担当事務所は各審査委員からの指摘・指導事項やQ&A、相互の質疑応答等を「組合審査結果表」にまとめ、それらを反映させた設計図書を納品することになります。